

輸血療法について

中央検査部 臨床検査技師 岡田 佐恵子

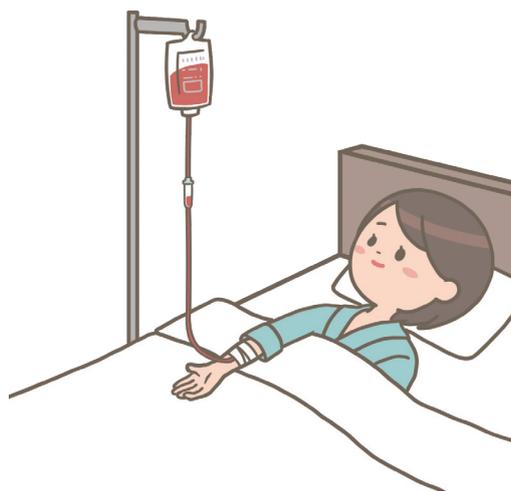
輸血療法とは、血液中の成分（赤血球、血小板、血液凝固因子など）の機能や量が低下した時にその成分を補うことを目的とした治療法の一つです。患者さん自身で十分な血液を造れない場合や、外傷や手術などで大量出血があった時に適応となります。患者さんやご家族には、輸血の必要性、使用する血液製剤の種類、輸血に伴うリスクなど必要項目を十分に説明し同意を得た上で輸血を行います。

輸血用血液製剤には、**赤血球製剤**（貧血の改善、出血の治療に用います）、**血小板製剤**（血小板を補充し止血、出血予防に用います）、**血漿分画製剤**（血液凝固因子の補充に用います）などがあります。

輸血前に行われる検査として、血液型検査（ABO 血液型、RhD 血液型）、不規則抗体検査（患者さんの血液中に不規則抗体があると、稀に輸血で副作用が起こることがあるため事前に検査します）、交差適合試験（患者さんの血液と輸血用血液製剤が適合するかを事前に検査します）、感染症検査（肝炎ウイルス）などがあります。

実際に輸血を行う時には、患者さんの氏名、生年月日、血液型などを確認した後患者さんの全身状態を観察し、バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度など）に注意しながら投与します。輸血による副作用（発熱、蕁麻疹、かゆみ、血圧の変動など）が起きていないか、輸血中も患者さんの全身状態を観察します。

当院では24時間365日、輸血療法を行うことができます。輸血を受けられる患者さんやご家族には、輸血に対する不安やわからないことがある場合は遠慮せずに医療スタッフにご相談ください。



>>> 病院からのお知らせ

当院への受診は、紹介状のご持参と事前の診療予約の取得をお勧めしております。
事前に診療予約をしていただきますと、待ち時間が短縮できます。

【富山ろうさい病院 院内公開講座・生活習慣病教室】のお知らせ

《院内公開講座》

| | |
|-----|-------------------------------|
| 日 時 | 令和7年1月29日（水） 14時00分～14時45分 |
| 場 所 | 1階総合受付横フロア |
| テーマ | 決定次第お知らせ致します。 |
| 講 師 | 決定次第お知らせ致します。 |

《生活習慣病教室》※2階外来受付にお声掛けください。

| | |
|-----|--------------------------------|
| 日 時 | 令和6年12月25日（水） 14時00分～15時00分 |
| 場 所 | 2階採血室待合フロア |
| テーマ | 骨粗しょう症について |
| 講 師 | 当院医師、理学療法士、管理栄養士 |